

具体的な日本語教育プログラムの作成手順(案)

1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握

- (1) 対象とする学習者の属性や数の把握
 - ・レディネス, 漢字圏かどうか, 学習適性, 家族形態, 在留資格など
- (2) 生活課題の把握
- (3) 地域のリソースの把握

地域・学習者に応じた
教育内容の選択と工夫

2 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

- (1) 日本語教室の目的をまとめる
- (2) 学習者のニーズ、地域のリソースに基づいた教室の設置
 - ① 地域課題, 域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置。
 - ② 行政関係機関との連絡調整。

相互 作用

3 具体的な日本語教育プログラムの作成

- (1) 学習内容について検討
 - ① 取り上げる生活上の行為の選択
 - ② 言語事項／社会文化的情報の選択と工夫
- (2) 学習順序について検討
 - ・学習者の生活課題・ニーズから学習順序を設定
- (3) 学習時間について検討
 - ・学習内容に掛かる時間を想定し, 設定
- (4) 指導者・協力者について検討
 - ① 協力者との協力体制について検討
- (5) 活動方法について検討
 - ① 目標達成のための教室活動の方法
 - ② 教材
 - ③ 評価について検討

地域・学習者に応じた教育内容の
選択と工夫

専門家・地域
住民との協働

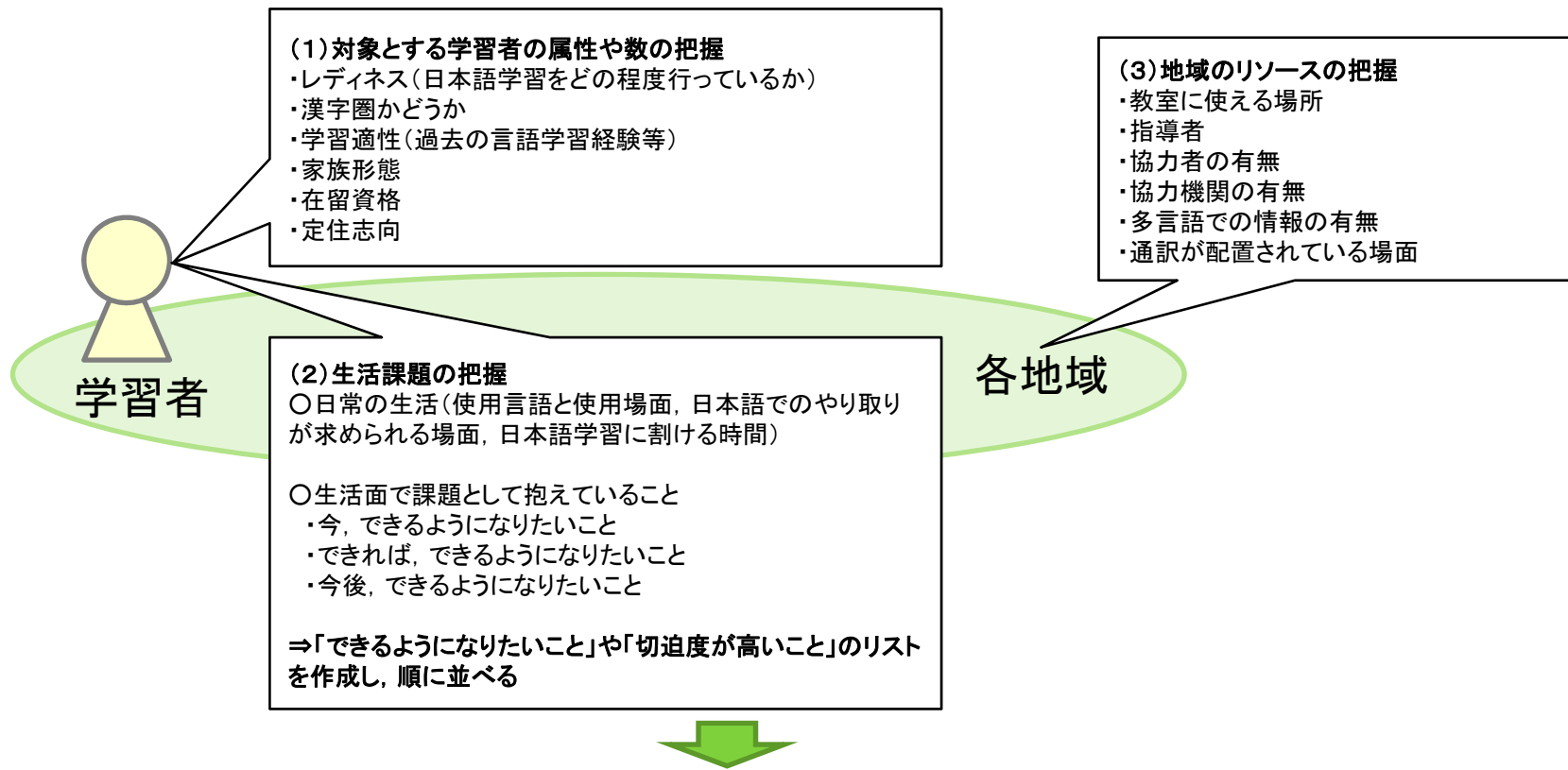
対話による相互
理解の促進

行動・体験中
心の教室活動

プログラムの
見直し

各地域の実情に応じた
日本語教育の実施

1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握



2 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

(1)日本語教室の目的を設定する

漠然とした学習者像ではなく、地域に在住する外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから生活課題の改善に向けた教室の目的を設定する。

(2)学習者のニーズ・地域のリソースに基づいた教室の設置

①地域課題, 域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所, 日時等)

国際結婚女性→平日昼間, 保育を同時開催, 子連れでも来やすい雰囲気を作る...等

日系南米人の労働者→土日や平日夜間, 受入企業と連携した日本語教室...等

②行政・関係機関との連絡調整

3 具体的な日本語教育プログラムの作成

(1) 学習内容について検討

① 取り上げる生活上の行為の選択

「1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握」の「(2) 生活課題の把握」の学習者が「できるようになりたいこと」、「切迫度が高いこと」のリストを基に該当する生活上の行為の事例を標準的なカリキュラム案から選択する。

生活課題	できるようになりたいこと	標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例
職場での人間関係が限られている	職場でのコミュニケーションがうまくできるようにになりたい	3102050 仕事上の公的な自己紹介をする 3101080 日常のあいさつをする...
買い物ができる場所がよく分からない	買い物ができる場所を知り、うまく買い物ができるようになりたい	0801020 必要な品物を扱う店を探す 0801030 目的によって店舗の種類を使い分けることを知る...
家族以外との接触が限られている	行動範囲を広げ、知り合い・友達を増やしたい	3101060 相手に合わせたあいさつをする 3501100 行事に参加する...
病気になったときのことを考えると不安だ	病院で診察を受けることができるようになりたい	0102010 初診受付で手続をする 0103010 医者の診察を受ける...



② 言語事項／社会文化的情報の選択と工夫

地域の実情・学習者の日本語のレベルに合わせて取り上げる言語事項／社会文化的情報を選択し、工夫する

標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例	地域の実情・学習者の日本語のレベルに合わせて工夫する	言語事項／社会・文化的情報の工夫
3102050 仕事上の公的な自己紹介をする 3101080 日常のあいさつをする...	○職場の慣習、地域の慣習に合わせた自己紹介をする ○日常のあいさつをする	地域で働いている人から自己紹介について聞くなどし、ロールプレイ等を行いながら、必要な言語事項を取り扱う。自己紹介の仕方について話し合う。
0801020 必要な品物を扱う店を探す 0801030 目的によって店舗の種類を使い分けることを知る...	○必要な品物を扱う店を探す ○目的によって店舗の種類を使い分けることを知る	実際に地域の店を回るなどして、その場でやり取りを体験することで、必要なやり取りを学ぶ。体験に必要な言葉や地図等を使って学ぶ。
3101060 相手に合わせたあいさつをする 3501100 行事に参加する...	○相手に合わせたあいさつをする ○行事に参加する	あいさつのバリエーションを体験する。実際に行事に参加し、その中で必要な言語事項を学ぶ。
0102010 初診受付で手続をする 0103010 医者の診察を受ける...	○地域の病院の実情を知り、実際に合わせた初診受付の手続、医者の診察を受ける	初診受付に必要な読み書きを確認し、レベルに応じ、取り扱う。

3 具体的な日本語教育プログラムの作成

※以下の手順は日本語教室を設置・運営する中で常に調整が求められるものであり、必ずしも順番通りに設定すべきものではない。

(2) 学習順序について検討

・学習者の生活課題・ニーズから学習順序を設定

「1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握」の「(2)生活課題の把握」の学習者がより「できるようになりたいこと」、「切迫度が高いこと」から順に学習順序を設定する。

(3) 学習時間について検討

・学習内容に掛かる時間を想定し、設定

学習内容に掛かる時間を想定する際には、以下にあげる事項のほか、学習スタイル(目型, 耳型), 学習ストラテジーの傾向, 目標設定等を踏まえ、時間を設定する必要がある。また、学習時間について設定する際、個々の学習者により必要となる学習時間は異なるが、地域における日本語教室においてはより時間が掛かる学習者が教室活動から排除されないよう留意することが求められる。

学習時間 短		学習時間 長
日本での生活経験 長	↔	日本での生活経験 短
言語学習経験 長	↔	言語学習経験 短
日本語学習経験 多	↔	日本語学習経験 短
読み書きがあまり必要ではない	↔	読み書きが必要
自習時間が確保できる	↔	自習時間が確保できない
漢字圏	↔	非漢字圏

(4) 指導者・協力者について検討

・協力者の協力体制について検討

学習者の状況	求められる協力者
日本での生活経験が少ない	指導者の他、日本での生活経験が長く、学習者と母語が同じ人が参加することが望ましい。
日本での生活経験はあるが、日本語学習経験が少ない	指導者の他、日本での生活経験が長く、学習者と母語が同じ人や地域住民が参加することが望ましい。
日本での生活経験もあり、生活経験も長い	指導者の他、地域住民が参加できるような体制を組み、対話・交流を中心とした教室活動を盛り込む。

3 具体的な日本語教育プログラムの作成

(5) 活動方法について検討

① 目標達成のための教室活動の方法

行動・体験中心の教室活動を進めるための条件	行動・体験中心の教室活動の内容	該当する生活上の行為の事例	教室活動の方法の例
関係機関の協力が得ることができる	関係機関の協力のもと、生活上の行為が行われる場所を訪問したり、施設見学、シミュレーション等を行いながら日本語を学ぶ	4403030 利用方法を尋ねる(地域の公共施設) 4501100 手紙や葉書を書いて送る	施設見学 シミュレーション
実体験を行うことができる	生活上の行為を体験しながら日本語を学ぶ	0801050 デパート, スーパーマーケット, コンビニ, 電器店, 書店等で買い物をする 1004060 券売機を利用する	実体験
協力者・ゲストの参加が得られる	できるようになりたい生活上の行為にかかわる協力者・ゲストを招き、教室活動を行う また、フォトランゲージやランキング等により、広く対話・交流を中心とした活動を行う	0301090 流行性の病気についての情報を理解し、適切に対処する 3302080 支払方法を確認する(各種税金)	フォトランゲージ ランキング等
視聴覚機器が利用できる	ロールプレイにより学ぶほか、生活上の行為を見て学ぶ	(視聴覚機器による)	ロールプレイ等

② 教材

①の教室活動の方法で扱う生活上の行為を行う際に用いることのできる「多言語情報」、生活上の行為の場面を示した「写真」や「イラスト」、「やり取りの例」に含まれる表現等、生活上の行為を行う上で有効な情報が含まれるものを教材として活用することが重要である。

③ 評価について検討

学習者のニーズに即した教室活動が展開できたかどうか、地域の実情に即した教室活動の展開ができたかどうか、対話による相互理解の促進が進んだかどうか、生活上の行為が行えるようになったかどうかという観点から評価を行い、その結果を基に具体的な日本語教育のプログラムの振り返りを行う。